

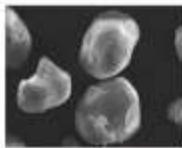
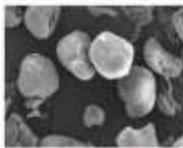
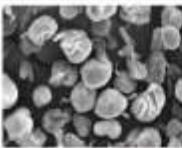
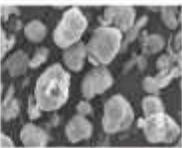


〒470-0162
愛知県愛知郡東郷町春木白土1-242

株式会社喜多村
営業部 ニュースレター係

樹脂コンパウンド用KTLシリーズ PF0A規制対応品へ完全切替！

弊社ではかねてより、PF0A含有量を25ppb以下の樹脂コンパウンド用 KTLシリーズへの切替を進めており、今般完了しました。なお、現行品は注文の受付を終了しておりますことご了承ください。

	KTL-450A	KTL-450	KTL-620	KTL-610
MAX.粒子径	88.00μm以下	88.00μm以下	62.23μm以下	62.23μm以下
50%粒子径	17.50±1.50μm	22.00±5.00μm	11.50±3.50μm	12.00±3.00μm
融点(DSC)	325～335℃	325～330℃	325～330℃	325～330℃
耐熱温度(TGA _{5%})	430℃	410℃	410℃	370℃
Restriction/EU 2019/1021	○	○	○	○
化審法 ^{※3}	○(予定)	○(予定)	○(予定)	○(予定)
SEM写真				
	30μm	30μm	30μm	30μm

※1: Thermo Gravimetry Analyzer
熱重量測定
※2: EU POPs規則
※3: 正式名称「化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律」

- 完全に完成された高分子量PTFE微粉末。
- PF0A規制対応品。
- 流動性・分散性に優れるため、混練機への自動供給が可能。
- 融点前後での体積及び形状の変化が小さいため、成形品の強度・寸法安定性に影響を与えない。

第50期 事業発展計画発表会

～おかげさまで50周年～

2021年5月をもちまして、弊社は50期を迎えることが出来ました。これもひとえに皆様のご支援、ご愛顧の賜物と心から感謝致しております。今年も例年通り、5月に「第50期 事業発展計画発表会」を実施しましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、WEBでの開催となりました。なるべく在宅勤務での参加を推奨し、出勤者は事務所若しくは会議室に分散するなどし、密を回避して開催致しました。事業発展計画発表会とは、社長自らが全社員に向けて、今期の経営目標や具体的実施事項を発表する場です。会社全体として、このコロナショックによる景気低迷とPF0A問題を全社員一丸となって乗り越える事などをメインテーマに、喜多村として更なる「進化」が出来るよう、社長より発表がありました。



【PTFE潤滑用添加剤についてのお問い合わせは下記まで】

営業部 営業1課 mail:info@kitamura ltd.jp Tel:(052)803-5151 Fax:(052)803-5190

不定期連載 西田農園Vol.3 農園、土壌消毒。

営業部営業1課の西田です。相変わらず試行錯誤しながら農作業に勤しんでいます。

さて、野菜の無農薬有機栽培を始めて約四半世紀を過ぎまして、土壌伝染病の被害が深刻になってきました。コンパニオンプランツの利用、完熟牛糞堆肥&籾殻燻炭の鋤き込みなど 細々と試してはきたものの、明確な効果は確認できていませんでした。

ある日、「エタノール溶液による土壌還元消毒法」の記事が目にとまりました。低濃度のエタノールを土壌に浸透後、3週間ほど表面をフィルムで覆うという方法です。論文によれば、エタノールを餌とする微生物の増殖により土壌が無酸素状態になり、病原性土壌細菌やセンチュウの活動が抑制されるとのこと。早速資材を購入しました。

注文から1週間後、到着したのは段ボールケースに入った20Lの土壌消毒用エタノール。開封前なのに、すでに周囲には、コバエが大喜びしそうな臭いが立ち込めています。慌てて畑に運び、検証開始です。

防水処理の手間を省くため、コンテナに土を入れて消毒することにしました。スコップで土をひたすらフレコンに投げ入れます。次にエタノールを規定の濃度まで水で希釈しながら、土がひたひたになるまで入れます。最後にコンテナ上部を透明なシートでぴったり覆い、3週間放置すれば完成です。

4週間後の梅雨の晴れ間、コンテナから土を掘りだして畝を1本立て、8本のミニトマトを植えました。比較のため、隣に未処理の土で畝を立て、同じくミニトマトを8本植えました。

もちろん、ミニトマトの苗の購入先も種類も揃えてあります。さて、効果のほどはいかに？続報をお楽しみに。

720×680×700(cm)の角型フレコン
2つに詰め込んで、畝1本分。



左が消毒済の畝、右が未処理の畝。
土の色が違うのは単に湿り気の問題。



苗を植えて3週間後。未処理区で1本が
枯れた。その他の違いは確認できない。



土壌消毒中、周囲には、アルコール臭+甘酸っぱい臭気が漂う。アルコール臭に包まれながら農作業できる幸せをかみしめるが、お酒に弱い人は千鳥足になるかも。

Chinaplas 2021に出展しました

2021年4月13日(火)～16日(金)に中国深セン(会場：深セン国際会展中心)にて開催された、第34回中国国際プラスチック・ゴム工業見本市 Chinaplas2021に出展しました。

コロナ渦ということもあり、中国の現地スタッフのみでの対応となりましたが、多くのお客様とお話させて頂く機会に恵まれました。2022年こそは安心して現地のお客様をお迎えできるよう、祈念しております。



深セン国際会展中心入口



弊社ブース



Chinaplas会場内



委託粉体施工、フッ素樹脂 (PTFE) 潤滑剤添加剤

株式会社 喜多村

〒470-0162 愛知県愛知郡東郷町春木白土1-242

TEL:052-803-5151 FAX:052-803-5190

URL:<http://www.kitamuraltd.jp/> Mail:info@kitamuraltd.jp

送付先の変更・配信停止ご希望の方は、お手数ですが、上記TELまたはMailにてご連絡ください。